



浜松市長
鈴木 康友

世界と「ツナグ」都市へ

浜松市は、人口約82万人、全国で2番目の広大な市域には、都市機能が集積する地域、工業や農業が盛んな地域、浜名湖や太平洋に面した観光や水産業が盛んな地域、そして北部の森林地域と、多様で豊かな自然に恵まれた、まさに国土縮図型の都市と言えます。

また、輸送用機器や楽器、光産業など世界市場で活躍する企業が数多く生まれた都市であり、世界とのつながりのなかで内発的な発展を遂げてきました。

本市では現在、長期的な視点から未来を展望し、次世代、人、そして世界と「ツナグ」という視点から施策を推進しています。

本年3月には、本市と海外を「ツナグ」施策の考え方や方向性を示す「浜松市国際戦略プラン」を策定しました。このプランでは、本市の特徴である、音楽、産業、多文化共生を重点分野としています。

内容を少し紹介しますと、音楽分野では、現在、ユネスコ創造都市ネットワークの加盟に向けた準備を進めています。技術と文化により発展する創造都市として、音楽を機軸とした取り組みを進めていきたいと考えています。

産業分野では、アジアなど新興市場の成長を本市の活力に繋ぐため、地域製品の海外展開や中小企業の海外進出支援、インバウンド推進に向けた観光協力協定の締結、トップセールスの積極的な展開などを計画しています。

多文化共生分野では、これまでの多文化共生施策への取り組みを土台に、外国人市民が多数在住するという本市の特徴を活かし、多様性を都市の活力として、さまざまな人々が活躍できる魅力ある都市とするための取り組みを進めたいと思っています。

このように、自らの特徴や強みを活かして海外諸都市との交流や連携を戦略的に展開し、都市の活性化や課題の解決を図るとともに、国際社会に貢献していくことは、都市の持続的な発展を図っていく上で、重要なものと考えます。

本年6月には、UCLG ASPAC（都市・自治体連合アジア太平洋支部）の執行理事会に併せて、自治体の国際戦略をテーマとした国際会議を浜松で開催します。この会議は、クエアをはじめとする関係機関の協力のもと、アジアの主要都市や国際機関からの参加も予定しており、国内外からの参加者と語り合う、有意義な機会にしたいと考えています。

世界とツナグ都市・浜松へ、皆様のお越しをお待ちしています。